

- ふれあいサロン／学校前自治会
- すくすく畑で地域ボランティアさんと／報徳小1・2・5年
- 大豆と積小為大／桜井小3年
- アブラナの刈り取り／桜井・報徳小4年

地域交流 健康づくり

たのしみ

ふれあいサロン

by 学校前自治会

地域の皆さんが思いやりをもって生活できることが願い

5月の第1日曜日に、桜井プラザで高齢者の方々を中心に講演会や合唱で楽しい会を開いています。参加者の友好を図り親睦を深めることを目的に開催しています。

●時期▶5月第1日曜日 ●場所▶桜井プラザ ●参加費▶100円 ●主催▶学校前自治会

おすすめ!!

参加すればきっと笑顔になります！お気軽に足を運んでください。

昔を知る

なえどこ

春の農作業 ～稲の苗床づくり(田植の準備)～

苗を育てる

120cmくらいの「^{うるちまい}うね」に粳米をまく。5月下旬に20cmくらい苗が伸びた頃、小学校では2回くらい稲の害虫「^{ずい虫}ずい虫」の卵がついている苗葉をとって廻った。

春おこし
(田おこし)

節句が終わると春おこしと言って「田すき」を始める。馬の後に「すき」という農具をつけ、両手でかじを取り土をすき起こしていく。馬の口輪に短い竹竿の「はなぞう」をつけて馬を動かすのが子どもの専門の農作業であった。

初しる・中じろ
(代かき)

すき起こされた田んぼに一齐に水を引き込み、田植までに田んぼを平らにするために、かきならす。長い「はなぞう」で馬のかじ取りをするのも「はなどり」といって、子どもの農作業であった。

田植

田植前の水田には「たにし」がたくさんいたので、これを子どもが取り、その身を煮付けると大変おいしかった。



5/5 子どもの日

端午の節句(男の節句)

孫の生まれた家で竹竿の先に一匹つけた鯉のぼりを立てる程度であった。

家の中に武者人形など飾る家は一軒もなかったし、ちまき、かしわ餅など知るよしもなかった。

田んぼはレンゲの花盛りで、その中で友達とやっこ凧をあげたこと、この日一日は何の仕事も言いつけられず、終日のんびり遊べたことが男の節句の唯一の楽しみであった。

(明治時代の思い出)

尊徳学習 地域交流

まなぶ

大豆と積小為大

桜井小3年

「すがたをかえる大豆」どんなふう to 成長するのかな？

地域の方に教えてもらいながら、ポットに大豆のタネを蒔きました。7月に成長した苗を畑に植え替えます。これからどんなふう to 成長するのでしょうか。また、私たちの生活の中にどんな形で取り入れられているのでしょうか。



尊徳学習 地域交流

まなぶ

アブラナの刈り取り

桜井・報徳小4年

金次郎さんがこういう作業を1人でやっていたら大変だな

地域の方の畑で栽培させて頂いたアブラナの刈り取りに行きました。タネを蒔いてから半年、アブラナは大きく成長し、トラック3台分にもなりました。



ちよつとのタネがこんなに大きくなるとは思わなかった！



一つのさやから、20粒も種があった。一粒の種でたくさん種ができるなんてすごい！

体験学習 地域交流

まなぶ

すくすく畑で地域のボランティアさんと

報徳小1・2・5年

「たくさんできるといいな」ボランティアさんお世話になります。



さといもの種芋植え 5年生

1人2~4個の種芋を手に持ち、合計150個の種芋を植えました。草むしりや水やりなども積極的にしていきたいと思います。



さつまいも植え 1・2年生

植え方の説明をしっかりと聞き、一本一本、丁寧に植えることが出来ました。子どもたち同様、すくすく育ってくれるといいですね。

